

Press Release



棚田康司展

十一の少年、一の少女

ヴァンジ彫刻庭園美術館

「父になった少女、母になった少年」2008

2008年9月21日（日）-12月25日（木）

1. The Vangi Sculpture Garden Museum

棚田康司

十一の少年、一の少女

彫刻家棚田康司（1968-）は、一本の木を外から彫りこみながら、子供たちをなかから立たせようとしています。髪の毛の一筋、柔和な目尻、浮きあがる肋骨、木肌を残した皮膚の色、緻密な観察による未成熟な人体は、どこか中性的で、その先の変化を予感させる姿態をとっています。彼の彫刻は、木との出会いからはじまり、その内部を丹念に見極め、「木取り」をしていく、素材と徹底して向きあう過程のなかからうまれます。彼自身が見聞き体験した出来事を引き金とし、実在の人物への洞察をもとに、個別の性格と、我々の誰にも訴えかけるような内面をとりだします。このように、彼は、身近な日常の小さな手ごたえを、願いをこめて、人間の奥深くとどくものへと変えていきます。

2001年のベルリン滞在以後、塑像術をその基とする西洋近代彫刻技法に、対置し呼応するように発展してきた、日本伝来の木彫技法を再認識するようになります。そして、かろうじて立っている弱々しさをあらわすため、そこから転じて彫刻を強く存在させていくように、子供像を追求する主題として選び、発表を重ねます。

このたびヴァンジ彫刻庭園美術館における個展では、二年間の取り組みの成果ともいえる新作「十一の少年、一の少女」を発表します。これらの子供像は、ある種の緊迫を保ちつつも、内なる変化を秘め、その迫真的な表情のなかに、各々の意志の萌芽を探りだしているかのようです。また、立像に加え、胸部までの像をおりませ、高低と動静の変化をつけながら、個性と人格を多彩に分化させて、館内に設置されます。

今まさにのびゆき、ひそやかにたたずむ、十二の存在をご覧いただけることでしょう。

## Profile

---

棚田 康司 Koji Tanada

1968 兵庫県生まれ  
1993 東京造形大学造形学部美術学科Ⅱ類（彫刻）卒業  
1995 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了  
神奈川県在住

### 主な個展・二人展

2006 「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー、東京  
2005 「YOU or IT」(O JUN×棚田康司) ミヅマ・アクション、東京  
2004 「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー、東京  
2000 「棚田康司展」 ミヅマアートギャラリー、東京  
1999 「Domination & Submission」 ミヅマアートギャラリー、東京

### 主なグループ展

2008 「TARO 賞の作家 I」 川崎市岡本太郎美術館、神奈川(2008.10/11—2009.1/12)  
「Off the Rails」 Mizuma & One Gallery、北京  
2007 「物語の彫刻」 東京藝術大学大学美術館陳列館、東京  
「場の記憶 虚実の狭間で 第三回造形現代芸術家展」 東京造形大学付属横山記念マンズー美術館、東京  
「日本—メキシコ彫刻友愛展」 ユカタン州メリダ、メキシコ  
2006 「アトリエの末裔あるいは未来展」 平櫛田中先生旧アトリエ、東京  
「ライフ」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城  
「DOMANI・明日展 2006」 損保ジャパン東郷青児美術館、東京  
2005 「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」 川崎市岡本太郎美術館、神奈川  
2004 「TOKYO STYLE」 MILLIKEN Gallery、ストックホルム、スウェーデン  
2003 「皮膚・身体・コミュニケート」 女子美アートミュージアム、神奈川  
「彫刻の身体」 東京藝術大学大学美術館陳列館、東京  
2002 「ちがさきアート NOW：四つの部屋—身体—の虚実」 茅ヶ崎市美術館、神奈川  
2001 「Sex and Consumerism: Contemporary Art in Japan」 University of Brighton Gallery、ブライトン、イギリス (イギリス国内巡回展)  
「S(h)itting in the mirror：オレにはオレがこう見える」 ミヅマアートギャラリー、東京  
1999 「彫刻・具象表現の解体と構築」 東京芸術大学大学美術館陳列館、東京  
「拡兆する美術'99」 茨城県つくば美術館、茨城  
1998 「Young Art International' 98」 OVERBECK - GESELLSCHAFT、リューベック、ドイツ  
「HOLY GIFT Vol. 2」 ミヅマアートギャラリー、東京  
1997 「Morphe' 97 一連鎖一」 小原流会館、東京  
「空間の変容」 東京藝術大学芸術資料館陳列館、東京  
「神奈川アートアニュアル、97<明日への作家たち>」 神奈川県民ホールギャラリー、神奈川

### 受賞歴

2005 「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」 特別賞

## 3. The Vangi Sculpture Garden Museum

## Information

---

展覧会名 棚田康司展 十一の少年、一の少女  
会期 2008年9月21日(日) - 12月25日(木)

---

### 【展覧会関連イベント】

#### ●アーティストトーク

日時=9月21日(日) 14:00~

会場=ヴァンジ彫刻庭園美術館 展示室内

料金=展覧会入場料に含まれます

ゲスト山本和弘氏(美術評論家連盟(aica)会員/栃木県立美術館シニア・キュレーター)、当館展覧会担当学芸員土方浦歌による鼎談。

#### ●ワークショップ

「棚田さんと一緒に彫刻をつくってみよう」

日時=10月26日(日) 13:00-16:00

会場=ヴァンジ彫刻庭園美術館内

対象年齢=小・中学生/参加費=500円(入館料別途)

いずれもご予約・お問合せ=Tel. 055-989-8785

---

主催 ヴァンジ彫刻庭園美術館 〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘347-1

開館時間 [9月・10月] 10:00~17:00/ [11月・12月] 10:00~16:30

\*最終入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週水曜日/祝日の場合はその翌日

入館料 [9月・10月] 大人 1,200円(1,100円)/高・大学生 800(700)円/小・中学生 500(400)円  
[11月・12月] 大人 1,000円(900円)/高・大学生 500(400)円/小・中学生無料  
( )内は、20名様以上の団体料金

アクセス ○お車の場合=[東京方面より]東名裾野I.C.よりR246経由、沼津方面へ10km  
[名古屋方面より]東名沼津I.C.よりR246経由、御殿場方面へ5km  
○電車の場合=JR東海道線「三島駅」下車、北口(新幹線口)から無料シャトルバス  
が出ています

お問合せ ○お電話でのお問合せ

[クレマチスの丘総合案内] TEL. 055-989-8787

○美術館公式ホームページ <http://www.vangi-museum.jp/>

## 4. The Vangi Sculpture Garden Museum

## Images

下記3点の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しております。

ご希望の場合は、下の必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

※必要な画像資料にチェックを入れてください



父になった少女、母になった少年

2008/210×62.5×35cm、210×51×28cm

朴材の一木造りに彩色

©Koji Tanada

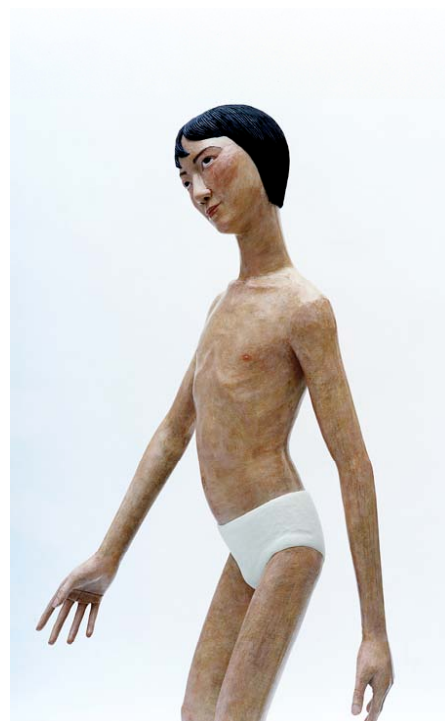


星になった少年

2007/44×45×45cm

オニグルミ材の一木造りに彩色、レース糸

©Koji Tanada



入道雲の少年

2007/159×48×45cm

朴材の一木造りに彩色

©Koji Tanada

■ 貴媒体名 \_\_\_\_\_

■ 掲載号 \_\_\_\_\_

■ 発売日/放映日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

■ 貴社名 \_\_\_\_\_

■ ご担当者名 \_\_\_\_\_

■ TEL \_\_\_\_\_ ■ FAX \_\_\_\_\_ ■ E-MAIL \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

■ ご住所 〒 \_\_\_\_\_

■ 資料お届け期限 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日までにご希望

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘 347-1

ヴァンジ彫刻庭園美術館 棚田康司展 広報担当宛

TEL. 055-989-8785

FAX=055-989-8790